

- 再生可能エネルギーの活用：創エネ
- 建物の省エネルギーの徹底：省エネ
- 森林整備・保全によるCO₂吸収：固定

三重大学 キャンパスのカーボンニュートラル (キャンパス緑花・ヤマモモ編)

知っていますか？

上浜キャンパスでは、ヤマモモが実のります。



■ ヤマモモと小鳥のさえずり

上浜キャンパスには、ヤマモモの木が数多く植樹されています。ヤマモモは4月頃に小さな花が咲き、6~7月にかけて直径1cmほどの赤紫色の実が生ります。ヤマモモは雌雄別株のため、雌の木にしかな実が結実しません。さらに実がたくさん結実する生り年がありますので、実が生っているところを目にする機会は少ないかもしれません。

しかし、ジャムや果実酒としても人気がある赤紫色に熟したヤマモモの実を目指して、雀などの小鳥も飛来しています。小鳥のさえずりが聞こえたら、実が熟している証です。樹を見上げて実を探してみてください。

なお、ヤマモモは漢字では「楊梅」とも記載します。すでに、8世紀の記録である『[出雲国風土記](#)』には「楊梅」の記載があり、山野に生えている樹木として把握されていたことが知られています。



■ キャンパス緑花

人と自然の調和・共生をめざし、地域に根差した緑あふれる環境先進大学としての**キャンパスづくりを推進**しています。



※写真上の番号は、ヤマモモの木の位置



三重大学マスコットキャラクター ミールド

2050カーボンニュートラルに向けた取組計画

国立大学法人 三重大学
地球環境センター
施設部 2024年11月

